

公益財団法人小岩井農場財団第5期の事業報告及び決算について下記のとおり報告いたします。

2023 年度事業報告

事業期間：2023年4月1日から2024年3月31日

2023年度事業について

本財団事業に平素より格別のご支援とご理解を賜り、厚く御礼申し上げます。

本財団第5期目の活動となります2023年度も、重要文化財「小岩井農場施設」の歴史的建造物21棟の公開普及活動の促進及び保存・修復事業を推進して参りました。

まず、保存活用事業として、耐震診断事業(第一号牛舎他11棟)の4か年事業の2年目として、第一号サイロを含む4棟の耐震補強計画を有識者の助言の下に検討の上、策定いたしました。また、単費事業として、現在も小岩井農牧(株)の管理部門の従業員が執務している本部事務所の保存修理事業に向けた基本設計業務を文化財建造物保存技術協会への委託により実施しました。これらの調査事業を遂行するにあたり、文化庁の指導を仰ぐとともに、小岩井農場重要文化財保存活用検討委員会の4名の外部有識者に多大な御協力をいただきました。小岩井農場重要文化財の大きな特徴である稼働遺産としての保存活用に向けての価値を損なうことなく検討を重ね、計画的に事業を進めております。

また、調査の過程で発見された時間的変遷の痕跡等は、小岩井農場施設重要文化財群の学術調査研究の成果として蓄積しております。

次に、公開普及事業(以下「公2」事業という)に於いては、同じく農業近代化の変遷を今に伝える重要文化財群「札幌農学校第二農場」を管理する北海道大学総合博物館と本財団で進めております共同研究の成果として、北海道大学総合博物館及び小岩井農場重要文化財ギャラリーにて巡回企画展「近代農業が見た夢」を開催いたしました。同大学の教授の指導により学生が製作したパネルと模型を展示し、双方の農業近代化遺産の文化財的価値の解明を試みました。

また、重要文化財公開ウォークイベントを企画しましたが、天候不良により中止といたしました。上丸牛舎重要文化財群の見学及び重要文化財ギャラリーの利用者数は前年度より増加し、また小岩井農場施設に対する数件のマスコミ取材があり、重要文化財小岩井農場施設への関心の高まりを感じ得た年となりました。

これらの財団活動に対しては、三菱グループから御支援を賜ると共に、文化庁より小岩井農場施設4棟の耐震診断事業に対し「令和5年度文化財保存修理補助事業」として、国庫補助交付金の助成を頂いております。

2024年5月

公益財団法人小岩井農場財団
代表理事 辰巳 俊之

2023 度公益財団法人小岩井農場財団第 5 期事業報告書
(2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日)

1. 主な事業活動等報告

年月日	事業内容	摘要
2023 年 4 月 1 日	事業開始	
2023 年 4 月 1 日	令和 5 年度文化庁補助事業交付決定	耐震診断事業
2023 年 4 月 5 日	文化庁補助事業見積依頼書発行	耐震診断事業/4/21 見積合せ
2023 年 4 月 12 日	三菱グループ各社への寄附金出捐依頼	
2023 年 4 月 17 日	単費事業一般競争入札公告	本部事務所基本設計業務/5/8 開札
2023 年 5 月 1 日	基本設計業務委託者と契約締結	単費(本部事務所保存修理事業)
2023 年 5 月 1 日	基本設計業務委託者と契約締結	単費(本部事務所保存修理事業)
2023 年 5 月 2-4 日	ギャラリー入館者数調査	訪日外国人アンケート調査
2023 年 5 月 8 日	監査	
2023 年 5 月 15 日	耐震診断事業委託業者と契約締結	耐震補強案策定、技術指導業務
2023 年 5 月 16 日	第 1 回通常理事会開催	2022 年度事業報告及び決算他
2023 年 5 月 25-26 日	追加調査実施	三号牛舎・育牛部倉庫
2023 年 5 月 26 日	穴埋め補修工事	一号牛舎付属サイロコア抜き補修
2023 年 5 月 31 日	第 1 回臨時理事会開催	代表理事選任
2023 年 5 月 31 日	定時評議員会開催	2022 年度事業報告及び決算
2022 年 6 月 22 日	定期提出書類提出	内閣府、2022 年度事業報告及び決算
2023 年 6 月 22 日	第 2 回臨時理事会提案書出状	決議があったとみなされた日/6/27
2023 年 8 月 8-10 日	ギャラリー入館者数調査	訪日外国人アンケート調査
2023 年 8 月 27 日	第 1 回文化財保存活用検討委員会開催	耐震診断事業/本部事務所基本設計中間報告他
2023 年 9 月 16 日	企画展「近代農業が見た夢」開催	北海道大学との共同巡回企画展
2023 年 10 月 1-31 日	全国近代化遺産一斉公開事業参加	21 日上丸ウォークツアー(悪天候の為中止)
2023 年 10 月 16 日	重要文化財建造物連絡協議会出席	文化庁主催
2023 年 10 月 26 日	令和 5 年度補助事業状況報告書提出	耐震診断事業
2023 年 11 月 1 日	第 3 回臨時理事会開催	代表理事業務報告
2023 年 11 月 7 日	文化財消防訓練	一号牛舎火災想定
2024 年 1 月 8 日	企画展「近代農業が見た夢」終了	
2024 年 1 月 26 日	令和 6 年度耐震診断事業補助金交付申請	乗馬厩ほか 3 棟耐震診断事業
2024 年 2 月 4 日	第 2 回文化財保存活用検討委員会開催	耐震診断事業/本部事務所基本設計報告
2024 年 2 月 13 日	第 2 回通常理事会開催	2023 年度事業計画及び収支予算の件
2024 年 3 月 4 日	第 4 回臨時理事会提案書出状	決議があったとみなされた日/3/11
2024 年 3 月 14 日	定期提出書類提出	内閣府、事業計画及び予算
2024 年 3 月 15 日	耐震診断委託業務契約変更	耐震診断業務、技術指導業務
2024 年 3 月 27 日	令和 5 年度補助事業完了	実績報告書提出 3/27、請求書提出 3/29
2024 年 3 月 31 日	事業終了	

2. 具体的事業内容

1) 調査研究・保全事業

① 補助事業(文化庁)1 件の遂行

- ・耐震診断事業(第三号牛舎他 3 棟)-

第三号牛舎、育牛部倉庫、第一号サイロ、第二号サイロ：耐震補強計画策定完了。

② 文化財の管理、保全修理等

- ・き損・修理：第三号牛舎(下屋支保工設置、柱腐食、窓建具・ガラス他)、第四号牛舎(釣り戸レール)、第一号牛舎(窓建具他)、四階建倉庫(差掛屋根、垂木、母屋他)、育牛部倉庫(下見板)
- ・賠償保険手続き：四階建倉庫(落雪による差掛屋根、垂木、母屋他き損)、第一号牛舎(強風による屋根剥がれ・付属サイロガラリ脱落)

③ 調査研究

- ・北海道大学との巡回企画展開催

会期：2023 年 7 月 22 日～9 月 10 日(北海道大学総合博物館にて)

2023 年 9 月 16 日～2024 年 1 月 8 日(まきば園重要文化財ギャラリーにて)

④ 文化庁へ「令和 6 年度重要文化財防災施設整備事業」2 件の申請

- ・耐震診断事業(第一号牛舎他 11 棟)4 か年事業の 3 年目は、乗馬厩他 3 棟(耕耘部倉庫、本部第一号倉庫、本部第二号倉庫の耐震診断業務)について申請。耐震診断はこれにて全て完了となる。
- ・耐震対策工事事業(第四号牛舎)について申請。

2 カ年事業(工事期間：9 ヶ月)

※令和 6 年度は補助事業を 2 本実施するため、補助率を算定した結果、並行加算が適用されたため耐震対策工事事業は補助率 70%となった。

2) 公開普及事業

① 展示館事業

- ・「小岩井農場重要文化財ギャラリー」運営管理

開館期間：2023 年 4 月 16 日～2024 年 3 月 31 日(2022 年度開館：4 月 16 日～3 月 31 日)

入館者数(推定)：97,073 人(前年比 169%)

- ・GW 及び夏休み期間、ギャラリー入館者数調査及び訪日外国人対象のアンケート調査実施。

実施期間：5 月 2 日～4 日、8 月 8 日～10 日

内外国人入館者数 344 人(前年比 171%)、外国人比 1.3%(前年より 0.8ポイント増)

② 文化財公開事業

- ・上丸地区牛舎見学__ゲート利用者数 1,267 人(前年比 109%)

- ・全国近代化遺産一斉公開事業参加 10 月 1 日～10 月 31 日まで、
10 月 21 日ウォークツアー企画(天候不良により中止)

3.収益の内訳

- ・事業収益：公開普及事業－文化財施設利用料及び上丸地区入場料
- ・受取補助金：国庫補助事業交付金
- ・受取寄付金：三菱グループ寄附金
- ・雑収益：受取利息、損害保険料